



◆高山祭り

高山祭りは、岐阜県高山市で毎年開催される祭りのうち屋台が複数出る祭りの総称で、春の山王祭と秋の八幡祭があります。



中橋を渡る屋台（春の山王祭）

日本の三大美祭の一つにも数えられるこの祭りは、飛騨高山の風物詩であり、その起源は十六世紀後半から十七世紀といわれています。

◆春の山王祭

春の山王祭は、旧高山城下町の南半分の日枝神様として崇められる日枝神社（山



北三番叟「童子」から「翁」へ（春の山王祭）

王様）の例祭で、毎年四月十四日・十五日、うらかな春の訪れとともに安川通り（国道一五八号線）南側の上町を舞台に繰り広げられます。

祭りの華は、なんとと言っても絢爛豪華な屋台で、山王祭の屋台組が誇る十二台の屋台が曳き揃えられた様子は、「動く陽明門」ともいわれています。また、三台の屋台で行われるからくり奉納、伝統衣装をまとって古い町並を歩く御巡幸、提灯を灯した屋台が祭囃子を奏でながら町を一巡する夜祭など、悠久の歴史を感じさせる祭絵巻が人々の心を魅了します。



布袋台カラクリ奉納（秋の八幡祭）

◆秋の八幡祭

秋の八幡祭は、旧高山城下町の北半分の氏神様として崇められる桜山八幡宮の例祭で、毎年十月九日・十日、安川通り

北側の下町を舞台に繰り広げられます。祭りの目玉は十一台の屋台による威風堂々たる曳き廻し・曳き揃えの様子です。まるで江戸時代の高山へ迷い込んだような華やかさです。また、古式ゆかしい御神幸、からくり奉納、幻想的な宵祭りなどの伝統行事も披露され、時を忘れる感動につつまれます。



屋台曳き揃え（秋の八幡祭）

◆アクセス

〔名古屋方面から〕

名古屋から高山までは、JR高山本線で約二時間二十分、高速バスで約二時間四十分です。

〔東京方面から〕

新宿から高山までは高速バスで約五時間三十分、JR松本駅からは約二時間二十分です。